

株式会社浅野太鼓楽器店

【業種】 和太鼓製造・販売

平成
24年度

事業
計画名

木工用自動切削装置の開発による 高精度な太鼓バチ製造システムの構築



直径約6尺(1.8m)の大太鼓

事業に取り組んだ経緯・背景—

近年、国内外ともに和太鼓愛好者は急増し、音楽性を追求する和太鼓団体は、多彩な音色が出せるバチを求めている。こうした中、高度な自動切削装置を開発することにより、顧客のニーズにあわせた左右均一な打音を発するバチ、あるいは多様な音色を出せるバチを短時間で量産し、ワールドワイドな市場の開拓と業績拡大を目指した。

事業内容 —

- ①製造コスト削減
原材料の15%削減による切削加工の高効率化
- ②製造における品質管理
精度検査、加工状況監視等



代表取締役 浅野 昭利

大太鼓の生産高日本一、 バチの進化でさらに音の精度アップ

株式会社浅野太鼓楽器店

【企業概要・沿革】

創業慶長14(1609)年。原木の伐出しから胴づくり、皮なめし、革張り、販売までを一貫して自社で行い、直径3尺(90cm)以上の大太鼓については国内シェアの70%以上を維持。昭和45年に法人化。

成果又は波及効果

- ①従来、一日当たり70組のバチを製作していたのに対し、新規機械では110組となり、月平均では2,240組以上の量産が可能となった。
- ②従来は機械を使って人間がバチの太さを揃え、面取りをし、研磨していたため、左右全く同一のバチを製作することは不可能であり、右手と左手で太鼓を打った場合に音の高さや響きに違いが出た。しかし木工用自動切削装置の開発により、左右のバチの太さの差異を0.1ミリ以内におさめ、面取りを左右全く均一に仕上げ、より精度の高い研磨が可能となったため、1組のバチを両手で持った際の左右の感触の違和感はなくなり、左右の手で太鼓を打った場合に同じ音色、響きを出すことができるため、音にこだわる太鼓愛好者からの切実なニーズに応えることができるようになった。
- ③反復的な打撃とゆらぎによって、リズムの収縮性を織り込みながら整然とした連続模様を描く、高度に洗練された独特なスタイルの太鼓奏法は、バチが大きな役割を果たしている。すなわち、硬質のバチの片方の先端をもう片方より細く削ることで、人間の聴覚で感知できるか否かの微細な音か

ら、耳をつんざくような爆発的な音まで自由に出すことができるが、これまでの技術ではこうした特注バチの製作には非常に時間がかかり、量産することは不可能の状況だった。こうした多様化する顧客のニーズに対応するために木短時間でバチの先端を細く削ったり、より硬度の高い木材を選んでバチに加工することにより、太鼓愛好者だけでなく、演奏を聴く人々が太鼓の多彩な音色に親しむことができるようになった。

- ④木工用自動切削装置を開発することにより、太鼓の音域が広がり、太鼓が打楽器あるいは伝統楽器といった範囲を大きく超えて、日本国内だけでなく世界の中で新しい音楽の領域を形成してきつつある。
- ⑤機械を使った人力での製作から、新規開発の木工用自動切削装置に移転することで、これまで製品化する途中で破棄していた資材を大幅に削減できるようになった。そのためバチ1組あたりの木材使用量が約15%減少し、結果として価格を低く抑えることができ、購買層を拡大することができた。

今後の展望

伝統の技を継承する職人が今後ますます減少することを予測し、鼓・大鼓の胴切削機械ならびに桶胴太鼓製造のための桶自動組立装置の導入を検討中で

あり、太鼓を筆頭とした日本の伝統楽器製作のさらなる省力化と伝統音楽の普及に努めていきたい。



桶胴太鼓を製作



木工旋盤

【得意分野】

各種和太鼓製造

【商品】

各種和太鼓

【主要取引先】

国内外神社・仏閣、太鼓演奏家、
太鼓愛好家など

代表者名：代表取締役 浅野 昭利

設立年月日：昭和45年6月13日

従業員数：35人

資本金額：1,000千円

所在地：〒924-0051

石川県白山市福留町587-1

TEL：076-277-1717 FAX：076-277-2228

URL：http://www.asano.jp

E-mail：taiko@asano.jp